

# 染織家 日下田正先生 による特別授業 (第1回・2回)

7月18日(火)と8月28日(月)の2日間、宇都宮短期大学附属高等学校アートルームにおいて、生活教養科2年ファッション専門分野生徒が、益子在住の染織家 日下田正先生(栃木県無形文化財指定、栃木県文化功労者)による特別授業を受講しました。

7月18日は、今年5月本校菜園に定植した藍の生葉を摘み取り、ジューサーで青汁にした染液を用いて、“シルクのハンカチーフ”を染色しました。8月28日は、紡毛機を使用して、藍や茜・蘇芳・槐などで染めた原毛を紡いで糸にするスピニングを行いました。

授業を通じて生徒たちは、化学染料に頼らず、天然素材を用いた手作り(手仕事)による草木染めの技法を科学的に学ぶことができました。また、手作りの温もりを感じる「手仕事(ものづくり)」に触れることができ、とても貴重な体験をすることができました。

11月には、益子の日下田紺屋(創業1789年)に出向いて、自分たちで縫い絞りをしたハンカチーフの藍染めを行います。

## 第1回目【7/19(火)】



ジャパンプルーとは



青汁作り



藍染めのハンカチーフ

## 第2回目【8/28(月)】



カーディング



スピニング(原毛の糸紡ぎ)

